

委員会報告(民生常任委員会)

令和6年度土岐市一般会計補正予算(第4号) 所管部分

質疑 駄知こども園整備工事について、こども園の詳細は。

答弁 鉄筋コンクリート造、一階建て、保育室が7室、定員は108人を予定している。

質疑 ひだ作業所車両更新について、どのような車両を購入するのか。

答弁 就労支援施設の受注する物品の運搬に使用する車両を購入する。



駄知こども園 外観イメージ

質疑 給食センター冷温水発生機更新工事について、耐用年数の15年に達しない機器の更新であるが、修繕での対応はできないのか。

答弁 昨年あたりから不具合が発生し、その都度修繕していたが、今年度に入り、根本的な修繕が不可能であると判断した。

土岐市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 福祉医療費助成対象者を15歳から18歳に拡大することで対象者は何人増加するのか。

答弁 約1,500人を見込んでいる。

土岐市病院事業の設置等に関する条例を廃止する条例について

質疑 老人保健施設やすらぎの現在の入所者数と廃止後の受け入れ先の調整はどのようになっているのか。

答弁 現在の入所者は19人で、近隣老人保健施設や特別養護老人ホームでの受け入れについて調整をしているところである。

質疑 団塊の世代が後期高齢者となり、今後介護の需要が増えると思うが廃止して大丈夫なのか。

答弁 やすらぎのあり方検討委員会でも示されたが、今後、高齢者人口が減少する。介護度に基づく施設利用については近隣施設で賄うことができる状況である。

質疑 パブリックコメントにおいて駄知診療所の廃止に反対する意見はあったのか。

答弁 反対意見は1件あった。

質疑 駄知診療所の廃止について地元から反対の意見があることをどのように捉えているのか。

答弁 駄知診療所あり方検討委員会から、一次医療ではなく二次医療の責務を市は果たすべきとの意見をいただいている。また、地元自治会からも、廃止はやむを得ない状況であると理解をいただいている。

討論 やすらぎについては、今後の介護需要を考えるとすぐに結論を出すべきか疑問である。駄知診療所については、地元から残してほしいという意見があったため、この条例に反対する。



令和5年度土岐市一般会計決算の認定について 所管部分

質疑 総務費の定住促進奨励金について、支給件数が72件であるが、主にどこから転入されているのか。

答弁 岐阜県内からが50件、愛知県からが17件などとなっている。

質疑 定住促進奨励金のPRはどのように行われているのか。

答弁 ホームページや広報でのPRとは別に、SNSでの告知、県人会やハウジングセンターでのチラシの配布を行っている。

質疑 婚活支援事業補助金について、何人の方がイベントに参加しているのか。

答弁 2団体がイベントを開催し、男性22人、女性24人の参加者で、10組のカップルが成立している。

質疑 確定申告相談予約管理業務について、導入当初は、電話が繋がりにくく予約が難しいとの話も聞いたが現状は。

答弁 24時間対応のインターネット予約システムを使いやすいよう改修し、状況は改善している。

質疑 住民票等の証明書コンビニ交付について、利用割合が低いように思われるが、どのように考えているのか。

答弁 令和5年度実績は、16.2パーセントであり、全国平均より下回っているため、利用割合を上げるよう周知に努めている。

質疑 民生費の土岐市シルバー人材センター運営補助金について、会員は何人いるのか。

答弁 会員登録者数は、267人である。

質疑 現行の保育体制で職員への負担が大きいと思われるが運営状況はどうか。

答弁 配置基準に従いバランスよく職員配置しているため運営に問題はない。

質疑 会計年度任用職員が担任を受け持つケースは何件あったか。

答弁 幼稚園で6人、会計年度任用職員が担任を受け持っている。

質疑 保育士の確保に向け、どのような取り組みがなされているのか。

答弁 現役保育士の出身校に募集ポスターを掲示したり、県の機関と東濃3市合同でイオンモール土岐にて潜在保育士獲得を目的とした相談会を開催するなど募集に努めている。

質疑 医療的ケア児保育事業について、何人の看護師を配置しているのか。

答弁 泉こども園に看護師を2人配置している。

質疑 地域子育て支援拠点事業「ときめつく」の利用者数は。

答弁 令和5年度の利用者は、22,354人である。

質疑 生活保護の相談件数、申請件数、開始件数は。

答弁 令和5年度実績は、相談件数61件、申請件数40件、開始件数35件である。

質疑 衛生費のごみ収集事業について、ごみ搬入量が減少傾向にあるが、どのように分析しているのか。

答弁 人口減少による搬入量の減、分別回収の促進や店舗での資源回収も浸透しているのが減少の要因である。

質疑 教育費の部活動地域移行事業について、コーディネーターを雇用したことによる成果はどのようなものか。

答弁 地域クラブに移行する団体に対して助言、支援を行うことにより、円滑に地域クラブに移行し活動することができた。

質疑 きめ細かな学校支援事業のうち、日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対する支援について、対象児童生徒は何人であり、外国人児童生徒適応支援員は15人体制で問題はなかったのか。

答弁 112人の児童生徒の支援にあたっているが、15人の支援員で適切な指導をすることができた。

質疑 放課後教室の利用者が大幅に増加しているがその要因と、受け入れ体制に問題はないのか。

答弁 延長利用者が増加しているが、施設・人員配置とも問題はない。

質疑 図書館の廃棄図書はどのように処分されているのか。

答弁 図書館での配布や要望のある小中学校や市内施設へ配布することにより、再利用に努めている。

質疑 ときし電子図書館について、コンテンツを充実させているが、利用状況をどのように分析しているのか。

答弁 前年度比8,650冊増加している。小中学生に対して利用促進の出前教室を実施していることが増加の要因と捉えている。

討論 会計年度任用職員に幼稚園の担任を受け持たせている状況があり、正規職員へ改善しなければならない。所管外であるが、泉北部レクリエーションゾーンについては、物価高騰など市民生活が厳しい中、多くの費用を費やし休止となっているが、中止とし、市民が求める社会福祉の充実に重点を置くべきであり、この決算に反対する。

令和5年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について

質疑 1人当たりの保険料の推移は。

答弁 令和3年度が93,215円、令和4年度が95,332円、令和5年度が97,500円である。

質疑 保険料水準は県下で何番目位か。

答弁 県内42市町村中29位である。

質疑 物価高騰など現在の社会情勢から積極的に基金を繰り入れ、保険料を抑制すべきではないか。

答弁 令和11年の県内保険料統一時に、保険料が激変することがないように計画的に基金を繰り入れる必要がある。

討論 基金をしっかり活用して被保険者の負担を軽減すべきであり、この決算に反対する。

令和5年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について

質疑 介護給付費準備基金積立金を積み増しているが、基金の運用をどのように考えているのか。

答弁 将来的な介護給付費の増加による、保険料の急激な上昇の抑制のため基金を積み立てているが、第9期介護保険事業計画により、令和6年度から3年間の保険料へ充当する。

令和5年度土岐市病院事業会計決算の認定について

質疑 入院患者数が1.9パーセント増加、外来患者数が14パーセント減少している要因は。

答弁 入院は常勤医等の配置により適切な医療の確保ができたこと。外来はコロナの検査の減少が一つの要因であると分析している。

質疑 駄知診療所の利用状況は。

答弁 1日あたりの患者数は、8.3人である。



委員会報告(総務常任委員会)

令和6年度土岐市一般会計補正予算(第4号) 所管部分

- 質疑** 合併浄化槽設置事業補助金について、何件の補助を追加するのか。
- 答弁** 当初17基予算化していたが、今回3基追加し、合計20基の補助を予定している。
- 質疑** 土岐高山城跡の森散策遊歩道再整備工事について、ルートの変更を伴う工事なのか。
- 答弁** 崩落した箇所の中で修復対応できない部分は迂回ルートとして整備する。

陶元浅野線道路新設工事(9) 浅野工区の請負契約の変更について

- 質疑** 狭間川のボックスカルバートの盛土工事のみの変更契約なのか。
- 答弁** 付帯工事として、護岸工事等も変更となっている。

陶元浅野線道路新設工事(11)の請負契約について

- 質疑** 当初入札時の指名業者は何社で、落札率は何パーセントであったか。
- 答弁** 8社の指名で、落札率は97.6パーセントである。

令和5年度土岐市一般会計決算の認定について 所管部分

- 質疑** 歳入の、財産貸付収入について、どのように滞納整理に努めているのか。
- 答弁** 催告書の複数回発送、納付機会の拡大や納付相談を行うなど徴収体制を強化している。
- 質疑** 歳出について、総務費の職員のメンタルヘルス対策について、研修会を実施することでカウンセリング対象となる職員が減っているのか。
- 答弁** 研修等によりメンタルヘルス対策を実施し、相談件数の減につながったと認識している。
- 質疑** ふるさと応援寄附金について、経費は5割以内に収まっているのか。
- 答弁** 返礼品と募集経費を合わせて寄付額の5割以内というルールがあり、経費は49.9パーセントとなっている。
- 質疑** イオンモール土岐の実証実験店舗でのふるさと応援寄附金はどの程度あったのか。
- 答弁** 25件、426,000円の実績があった。
- 質疑** デジタル・トランスフォーメーション推進事業の成果は。
- 答弁** 住民票、戸籍や税の証明書等のオンライン申請やコンビニ交付により利便性を図ることができた。
- 質疑** オンライン手続きの導入によりパソコンやスマートフォンで申請できる環境を構築しているが、デジタルが不慣れな高齢者などへの対応はどのように考えているのか。
- 答弁** デジタルが不慣れな高齢者などへ、書かない窓口の導入も検討していきたい。
- 質疑** 農林水産業費の曾木地区のほ場整備事業計画の策定について、何年間で事業を実施する計画なのか。
- 答弁** 令和7年度から8か年で実施する計画である。
- 質疑** 危険木伐採事業費補助金について、申請件数が見込みより少なかった要因は。
- 答弁** 9月に要綱を制定してからの施行であったため、周知が行き届かなかったことも要因の一つである。
- 質疑** 商工費のセラミックパーク MINO 負担金の負担割合は。
- 答弁** 岐阜県33パーセント、多治見市51.93パーセント、瑞浪市5.8パーセント、土岐市9.27パーセントである。

質疑 土岐市販売戦略等チャレンジ協議会負担金について、イオンモール土岐の実証実験店舗での販売実績は。

答弁 約1,690万円の販売実績があった。

質疑 土木費の妻木南部土地区画整理組合が実施する埋蔵文化財発掘調査整理業務について、市の補助割合は。

答弁 総事業費の4分の1程度を補助している。

質疑 公園遊具の更新について、進捗状況は。

答弁 62公園中、30公園の遊具が更新されている。



質疑 木造住宅耐震診断件数の推移は。

答弁 令和3年度が9件、令和4年度が4件、令和5年度が7件である。

質疑 教育費の美濃陶磁歴史館管理運営事業について、借地料はどの程度かかっているのか。

答弁 年間約370万円である。

令和5年度土岐市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

質疑 有収率が83.68パーセントで対前年度比0.94ポイント減となったがその要因は。

答弁 水道管の老朽化が進行しているのが主な要因である。

質疑 有収率改善のための取り組みは。

答弁 老朽管の更新は水道事業経営戦略に基づき収支バランスを考慮し進めている。現在、衛星画像を使った漏水調査を実施しているが、新しい技術を取り入れることも検討し有収率改善に取り組みたい。



令和5年度土岐市下水道事業会計決算の認定について

質疑 地震対策のマンホールトイレをどこに何基設置したのか。

答弁 土岐津中学校に7基設置した。

